

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【公表番号】特表 2019-509949 (P2019-509949A)
 【公表日】平成 31 年 4 月 11 日 (2019.4.11)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-014
 【出願番号】特願 2018-550760 (P2018-550760)
 【国際特許分類】

B 6 5 B 9/067 (2012.01)

B 6 5 B 51/10 (2006.01)

B 6 5 B 51/16 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 9/067

B 6 5 B 51/10 N

B 6 5 B 51/16 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 27 日 (2020.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリメリックウェブからなる第 1 の重なり層と第 2 の重なり層との間に流体を向ける流体導管を有する膨張アセンブリと、

下流方向に前記フィルムを駆動する駆動機構と、

前記層を加熱することにより、前記ウェブが下流方向で加熱アセンブリを横切って移動するように前記駆動機構が前記ウェブを駆動するときに、前記第 1 のフィルム層と前記第 2 のフィルム層とを一緒にシールし、その間に前記流体を閉じ込める長手方向のシールを生成する薄いフィルム加熱器を有するシーリング機構と、

を有する、

保護包装形成装置。

【請求項 2】

前記加熱アセンブリは、前記ウェブと前記薄いフィルム加熱器との間に配置される低摩擦層をさらに有する、

請求項 1 に記載の保護包装形成装置。

【請求項 3】

前記ウェブは、前記加熱アセンブリに対して直接係合し、前記加熱アセンブリの前記低摩擦層を横切って移動する、

請求項 2 に記載の保護包装形成装置。

【請求項 4】

前記薄いフィルム加熱器は、

第 1 の層と第 2 の層と、

前記第 1 の層と前記第 2 の層との間に挟まれた加熱要素と、

を有し、

前記第 1 の層、前記第 2 の層および前記加熱要素が互いに結合されている、

請求項 1 に記載の保護包装形成装置。

【請求項 5】

前記結合材料はポリイミドである、
請求項 4 に記載の保護包装形成装置。

【請求項 6】

前記薄いフィルム加熱器は、前記駆動機構と前記ポリメリックウェブとに対して動作の間は固定されている、
請求項 1 に記載の保護包装形成装置。

【請求項 7】

前記駆動機構は、前記加熱アセンブリに対して前記ウェブを圧縮する第 1 の圧縮要素を有する、

請求項 1 に記載の保護包装形成装置。

【請求項 8】

前記第 1 の圧縮要素は回転可能である、
請求項 7 に記載の保護包装形成装置。

【請求項 9】

前記駆動機構は、前記ウェブが前記第 1 の圧縮要素と前記第 2 の圧縮要素との間で圧縮されるように前記第 1 の圧縮要素に対して配置される第 2 の圧縮要素をさらに有する、
請求項 8 に記載の保護包装形成装置。

【請求項 10】

前記加熱アセンブリは、前記ウェブが前記第 1 の圧縮要素と前記第 2 の圧縮要素とにより前記加熱アセンブリに対して圧縮される前記ウェブとともに移動するときに、前記ウェブに接触する、

請求項 9 に記載の保護包装形成装置。

【請求項 11】

前記第 2 の圧縮要素は、第 1 の部分と第 2 の部分とを有し、
前記加熱アセンブリは、前記第 1 の部分と前記第 2 の部分との間に少なくとも部分的に収容される、

請求項 9 に記載の保護包装形成装置。

【請求項 12】

前記第 1 の圧縮要素と前記第 2 の圧縮要素とは、前記ウェブが前記加熱アセンブリを横切って移動するように直接駆動される、

請求項 9 に記載の保護包装形成装置。

【請求項 13】

前記加熱アセンブリは、熱膨張の間に前記加熱要素の張力を保持するように構成される、

請求項 12 に記載の保護包装形成装置。

【請求項 14】

前記加熱要素は波形形状を有する、
請求項 12 に記載の保護包装形成装置。

【請求項 15】

前記波形形状は正弦波または矩形波である、
請求項 13 に記載の保護包装形成装置。